



THE Y'S MEN'S CLUB OF KOBÉ PORT

KOBÉ PORT

THE SERVICE CLUB TO THE YMCA

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

Chartered May 8, 1988

神戸ポートワイズメンズクラブ

〒650-0001 神戸市中央区加納町2-7-11

神戸 YMCA 国際・奉仕センター

Tel 078-241-7204

Fax 078-241-3619

E-Mail: houshi@kobeYMCA.org

http://www.kobeYMCA.org/

第1例会 第4水曜日 6:30-8:30P.M.

第2例会 第1木曜日 7:00-8:30P.M.

第393号

2020年9月

会長(C P)山田滋己「苦難の時こそ、我がクラブから明るい光を！」 "Let's emit bright light from our club at the time of hardship!"

国際会長(IP) Jacob Kristensen(Denmark) "TRUST IN THE RIVER OF LIFE"(命の川を信じよう)(Values, Leadership and Extension)

アジア太平洋地域会長(AP) David Lua(Singapore) "Make a difference"(変化をもたらそう) "INSPIRE"(奮い立たせよう)

西日本区理事(RD) 古田裕和(京都トウバー) "Let's do it now!" "2022に向けて埃を持って All is well."

六甲部部長(DG) 安行英文(さんだ) "行動に信念を、信念は行動に" Believe in what you do. Do what you believe in.

9月強調月間 Menettes

メネットの優しさ、思いやりをワイズ活動に活かしましょう。

皆さまの勇気でクラブが、社会が、変わります。そして世界も！

吉本典子メネット事業主任(熊本ジェーンズクラブ)

< 9月第1例会 >

9月第1例会では、元毎日新聞記者の藤田様から「9月」をキーワードとして、「9.11」や米大統領選挙の行方など、時事の見方について学びます。ご経験豊かな見方をお聴きし、今後の活動に生かせればと思います。Web(Zoom)も含めて、たくさんのご参加をお待ちしています。

< 記 >

日時：9月23日(水)18:30~20:30

場所：神戸 YMCA 三宮会館 308 教室

併用：ZOOM 会議室

Meeting ID 826 7340 9234 Pass Code 694241

担当：丹羽和子ワイズ

開会点鐘：山田滋己会長

聖句・祈禱

卓話：「9.11米同時多発テロの！ナゾ」

藤田昭彦氏(元毎日新聞記者)

諸連絡、今月のお誕生日、ニコニコ、今月の歌

閉会点鐘：山田会長

< 2020-2021年度のファンド・累計 >

	8月	累計
ニコニコ	5,000円	6,000円
じゃがいも		
新玉ねぎファンド		
(じゃがいも、玉ねぎ、その他)		

< 8月出席状況 >

出席率：73.3%(出席数)11/15(出席率対象会員数)

充足率：65%(メン8,ゲスト1名,ビジター4名)

< 今後の予定 >

< 9月第1例会 >

9月23日(水) 神戸 YMCA308 教室

「9.11米同時多発テロの！ナゾ」

(元毎日新聞記者)

< 10月第2例会 >

10月1日(木) 神戸 YMCA308 教室

< 10月第1例会 >

10月28日(水) 神戸 YMCA308 教室

卓話:食の視点を通じた多文化共生社会の実現(仮題)

NPO インターナショナル代表 菊池信孝氏

HAPPY BIRTHDAY!

9月15日：中山佳奈メネット

< 2020年9月の聖句 >

< イエスは、群衆には草の上に座するようにお命じになった。そして、五つのパンと二匹の魚を取り、天を仰いで賛美の祈りを唱え、パンを裂いて弟子たちにお渡しになった。弟子たちはそのパンを群衆に与えた。すべての人が食べて満腹した。そして、残ったパンのくずを集めると、12の籠いっぱいになった。食べた人は、女と子どもを別にして、男が5000人ほどであった。 > マタイによる福音書 14: 19-21

たった五つのパンと二匹の魚で5000人が満腹したというのは驚きですが、今回この箇所が目にとまったのは、わざわざ食べた人は、女と子どもを別にして男が5000人ほどであったと書いてあることです。他の三つの福音書にもすべて、わざわざ男が5000人と書かれていました。もちろん当時のイスラエルでは女や子どもは数のうちに入れてもらえなかった時代背景があったのは確かでありその表れでしょう。単に数を数えるということではありますが、自分がどちらのものとして数えられるかによって大きく変わります。コロナ禍の中、先日の新聞に「発症者二桁に減り 良いほうのニュースにカウントされる人たち」という和歌が紹介されていました。数字がどうあろうと一人一人の発症者にとっては深刻なのに、減ったという良いニュースとして数えられてしまう。そんな皮肉を含む一首でした。聖書の中のイエス様のまなざしは、常に数としてではなく、どんな時でも、一人一人の個々に向けられています。 丹羽和子

2020-2021 年度クラブ役員

【会長】山田滋己【副会長】宮内伸浩【直前会長】水野雄二【書記】宮内伸浩【会計】丹羽和子、小田浩、手塚貴子【監事】鈴木誠也【担当主事】松田道子

会長メッセージ

会長 山田 滋己

新年度に入ってはや2か月が経ちました。当クラブ第1例会については7、8月とソーシャルディスタンスを取りながら神戸YMCAで実施できたものの、8月は例年の神戸真生塾(児童養護施設)での夏祭り支援(たこ焼き提供のご奉仕)から変更しての例会でした。また例年の東京むかでクラブ特別例(DBC:Domestic Brother Club=国内兄弟クラブ交流 於 東京YMCA 野尻キャンプ)は中止となりました。まだまだ例年通りとはいかない手探りの状態が続きます。

毎年8月の野尻キャンプは、参加者であるボーイズの支援を行いつつ、我々ワイズメンズクラブメンバー同士で語り合う良い機会にもなっています。ゲスト、ビジターの方々と一緒に、キャンプが少年達を育てる意味や在り方、現状の課題等々。他にも様々なジャンルについて話し合う、定期的にお互いの健康を分かち合いつつ思いを語り合うとても貴重な時間です。そして一緒にキャンプソングを歌う事もまた魅力の一つです。入会後、諸先輩方から教えて頂いた通り、"社会にとって有益なリーダーシップを取れる若者を育てることが最大の奉仕活動"という目的の下ではありますが、自然を堪能しながらの交流と懇親(とれたてのゆでトウモロコシを頂いたり、深夜までキャビンで飲んだり)が、実は当方にとって一番の楽しみなのかもしれません。

9月は幼少の頃から日本列島にとって台風の最も多い時期と教わってきました。今年は頻度こそ高くはなさそうですが、勢いは従前より増えています。さらに新型コロナで、避難の在り方もですが、そもそもの日常生活さえも従来通りとはいかない影響を受けています。自然の猛威は我々人類に何かを示唆しているのかもしれませんが、一方で学生時代よく海へ出ていた経験から、自然を人間の力で何とかしてやる、といった誤った考えをおこさずに、自然を乗り越えるという思いで根気よく何とか頑張れば、それ以上の試練は与えられないという実感も身につきました。ですので、このような環境下でも、ヘルスリテラシーも身に着けつつ、野尻キャンプのような自然に触れながら、ソーシャルディスタンスを取って、交流する機会を模索して行きたいと思います。

9月第1例会

演題「9.11米国同時多発テロの!ナゾ」

藤田昭彦氏(元毎日新聞記者)

2001年9月、旅客機4機がハイジャックされ、ニューヨークの世界貿易センター(WTC)ビルや国防総省(ペンタゴン、バージニア州)に突入、多数の死傷者を出した「9.11」事件。公式発表ではアラブ・ゲリラの犯行とされたが、検証作業が進むと、あまりにも多くの謎が浮かび上がった。真相を究明すべく米国の科学者たちも検証委員会を組織した。当日はNYで大事件が起きるとの事前情報も一部に流れ、難を逃れた人もいる。事件の背景に何があるのか?

<8月第1例会報告>

コロナ禍の中、8月第1例会は8月26日(水)に、神戸YMCA



チャペルで開催されました。今回もコロナのためにZOOM併用での例会となりましたが、メンバー8名、ゲスト・ビジター4名の参加



でソーシャルディスタンスを計りながらの例会となりました。ゲストスピーカーは神戸西クラブのメンバーのお一人であり、神戸真生塾の施設長をされている上杉徹さんでした。というのも神戸ポートクラブは毎年8月は神戸真生塾納涼大会のたこ焼きボランティア活動を例会としていたのですが、今年はコロナ禍のために中止となりましたので、代わりに上杉施設長をお招きし、神戸真生塾の歴史や事業、そしてコロナ禍での活動についてお話を伺いました。毎年たこ焼き奉仕で親しくしている団体ですが、改めてその歴史や活動について学ぶことができました。神戸真生塾は明治時代から孤児の救済のため「神戸孤児院」を発祥として神戸の福祉のために尽力してこられ、今日も児童養護施設として、また乳児院・保育園として、また子ども家庭支援センターとして地域で大きな働きをされています。多くの課題を持つ子どもたちに寄り添い、コロナ禍にあって神経を使う支援をされています。「食」を支援する「フードパスプロジェクト」など新しい試みのお話も伺うことができました。今後も神戸真生塾でのたこ焼きボランティアは神戸ポートクラブの貴重なCS活動になりますので、神戸真生塾とも親しく交わりたいと願っています。(水野記)

じゃがいもファンドの活動開始！

神戸ポート恒例のじゃがいもファンドの季節がやってまいりました。今年も北海道の美味しいじゃがいも「とうや」を楽しみに待っていてくださっている方々にお声がけできることをありがたく思います。新型コロナの影響でなかなか会えなかった友人にも連絡を取り、交流できることが楽しみです。

この活動は、購入してくださる方に「ワイズメンズクラブ」を知っていただき、一緒に支援活動に加わっていただくという点で、本当に意義のあるものだと考えています。みんなが笑顔になる、そんな取り組みが、クラブの活性化にも繋がることを願っています。(大野智恵)

☆北海道のじゃがいも☆販売のご案内
今年もワイズメンズクラブ恒例の、
「北海道じゃがいも販売」の時期がまいりました！

ワイズメンズクラブは、ライオンクラブやロータリークラブと並んで世界各国に1800余りのクラブ、30000人の会員を擁する国際的な団体ですが、他との大きな違いは、YMCAに準じたYMCAを通じて地域社会に奉仕することを前提としている点です。みなさまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

※このじゃがいも販売を通じて得た収益は、YMCAの国際連帯・支援、地域福祉活動等に充てられています。また、今年も特にRFP（防犯が第一とされる防犯）の活動に活用させていただきます。

神戸ポートワイズメンズクラブ
ファンド職員 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇
委員 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇
監事 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇

北海道の美味しいじゃがいも「とうや」
10kg箱（股ボール箱入り）1箱 2,500円
10月中旬にお渡し予定です。

※ご希望の方は、各クラブメンバーまでお名前、数量をお知らせください。

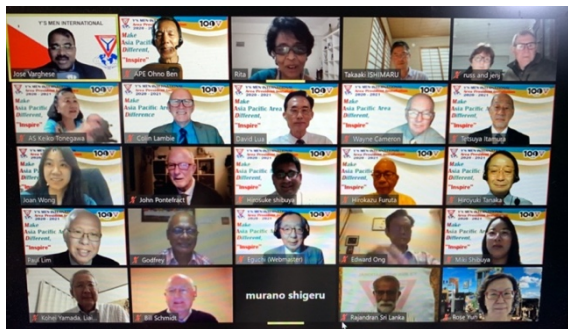
今年は天候に恵まれ、北海道ではおいしいじゃがいもが収穫されています。今年も例年通りの品質で、おいしいじゃがいもを提供いたします。少し黄色みがかったおいしい「とうや」をお楽しみください。

8月活動報告

1. アジア太平洋地域役員就任式

日時：8月16日(日)ZOOMにて

大野ベンさん、次期会長(APE)という役割で、閉会の挨拶を英語でしたそうです。大丈夫だったでしょうか？



8月第2例会記録(抜粋)

1.日時:2020年9月3日(木)午後19:00-20:20

2.場所:各自自宅他(Web会議)

3.出席者:井上、大野勉、大野智、郡、中山、細見、松田、水野、宮内、山田

4.内容:

(1)8月第1例会

・日時:2020/8/26日(水)18:30-20:15

・場所:①神戸YMCAチャペル、②各自自宅他(Web)

・出席者:メンバー①大野勉、大野智、郡(ドライバー)、丹羽、松田、水野、山田7名、②宮内1名

ゲスト②小合瀬雅之さん1名

ビジター①上杉徹ワズ(神戸西、ゲストスピーカー)1名、

②多胡葉子ワズ(宝塚)、柿島裕ワズ(大阪西)、

前田香代子ワズ(熊本ジェーンズ)3名

・欠席者:井内、井上、小田、民谷、中山、細見、宮野7名

・出席率:8+メーキャップ3(井上、中山、細見)=

11÷15名(出席率対象会員数)=73.3%

・充足率:8+ゲスト&ビジター5=13÷20名(在籍数)=65%

※出席率、充足率共に①、②両方をカウント

・内容:卓話「神戸真生塾の歴史、使命や課題、コロナ禍での現状等」他

(2)8月度活動報告

・第2例会:8/6(木)(web)

・アジア太平洋地域会長・役員就任式:8/16(日)(大野勉)

・【中止】東京むかでクラブ(DBC)交流 於 東京YMCA 野尻キャンプ

・東日本区EMCシンポジウム参加:8/27(木)(大野勉)

・石巻広域クラブ例会:(大野勉 ZOOM 参加)

(3)9~10月のクラブ例会

・9月第1例会:2020/9/23日(水)18:30-20:30

場所①神戸YMCA 308教室、②各自自宅他(Web)

卓話「9.11米国同時多発テロの!ナゾ」

藤田昭彦氏(元毎日新聞記者)ドライバー:丹羽和子ワズ

・10月第2例会:10/1(木)19:00-20:30、場所 神戸YMCA

・10月第1例会:10/28(水)18:30-20:30、場所 神戸YMCA

内容未定。(中山プログラム委員が候補者推薦)。10月第2例会までに決定。

(4)今後の予定、他クラブ例会等

・神戸YMCA 秋まつり:中止

・神戸YMCA インターナショナルチャリティーラン:リアルラン難しく中止かと。模擬店は出店無し。

詳細は後日。明日香村の柿ファンドは方法を別途検討。11/5 辺り個配検討

(5)協議課題

・じゃがいもファンド→9月第1例会までに先方と段取り→郡ワズ調整 10月出荷見込み

売値は2,500円/箱(昨年同様)

・12月第1例会 オリンピッククリスマス。高齢者施設なので要検討→中止。

・4月第1例会の内容、予定していたチャリティーコンサートが5/1(土)になったので別途検討。

2021年4月28日(水)4月第1例会開催決定

・2019-2020年度決算報告、2020-2021年度予算承認のお願い(丹羽)9月第1例会で確定予定

コロナ献金は7,500×会員数分、山田会長立替送金済み

・2019-2020年度中止となったチャリティーコンサート会場予約の都合上、2021年5月1日(土)に日程変更。

演奏者の方々へもお伝えし了承済み。会場は神戸聖愛教会(了承済み)。合唱は飛沫ゆえ判断はどこかの時点で。ライブができなくても動画配信も含めて検討。会合の度に話題に上げ、徐々に方向づけてゆく(山田) 10~11月に提案、寄付金集めというより、東北への思いを表すものに(水野)

・今期会長方針”チャーターから32年間蓄積したクラブの資産を整理、共有し、これからのクラブ活動へ繋げる”の進め方について。→東京むかでクラブ方式を採用するかなど、神戸ポートクラブの最適形式を探りながら、古参メンバー中心に、9月までにプラン、11月までに作成ぐらいの日程感で進める。

第1回打合せ日程調整(山田)

メンバー、山田、大野勉、宮内

・臨時代議員会公告について(報告)(山田)賛成で発信

・当クラブウェブサイト活性化について

HP(https://www.kobeymca.org/ys/kobe_port/index.cgi)活性化について、クラブ資産整理に合わせて検討(山田)

・チェンマイ、チェンライ支援コーヒーについて

毎月10袋注文して活用する。

コーヒーに限らず、チェンマイ、神戸クラブも含めて交流検討してはどうか

神戸YMCA マンスリーレポートから

1. 今夏、神戸YMCAサマーキャンプは、新型コロナウイルスの影響が今後様々な形で数か月から数年続くと想定しつつ、活動自体が感染拡大の温床になることを避けるとともに、地域の医療キャパシティや感染数の動向を確認しながら、活動が社会に不可を与えないように考慮して行いました。会員の皆様や活動を楽しみにしてくださっている皆様のご理解、ご協力を得ながらサマーキャンプを終えることができましたことを心より感謝申し上げます。

余島キャンプは、県を跨ぐ移動は行わないという制約を設け、香川県内から参加者を募集し、約200名のキャンパーが余島を訪れました。ユースボランティアリーダーたちは、大学の授業やテスト期間の変更、また感染症のリスクから余島に来ることができなかったリーダーも多くいますが、それぞれの形で協力や応援をしてくれました。多くの皆様のお励ましのもと実施することができました。キャンプの様子を『余島日記』でご高覧いただけますと幸いです。

余島日記 <http://yoshima-blog.org/>

2. 神戸YMCAの常議員会ほかそれぞれの委員会は、8月までは書面決議を中心としてきましたが、9月の常議員会からはオンラインと併用で実施していきます。

3. 神戸YMCAの秋のイベントにつきまして、10月の「三宮秋まつり」「西宮カーニバル」「チャリティラン」の中止が決定しております。

4. 第51回全国YMCAリーダー研修会が、9月19日~21日に六甲山YMCAで開催されます。

「私」と世界に希望を!~「私」が輝くと、世界はもっと輝く~をテーマに、全国のユースリーダーが参加し、オンラインと対面のハイブリッドで実施されます。

神戸YMCAからは5名のボランティアリーダーが参加予定です。いつもこの全国リーダー研修会開催のご協力、またリーダーの参加をご支援いただいているワイズメンズクラブの皆様には例会等でご報告させていただきたくします。

編集後記

若者の笑顔見たいとワイズ活動 弁子

ワイズメンズクラブの活動の第1は、YMCAを支援すること。キャンプ、日常の活動、留学生への支援、そしてYMCA運動の推進。その成果が目に見えて現れると、嬉しい。心の底から嬉しいと感じる。そんな便りが届いた。

学生生活支援募金報告書。若者の笑顔がそこにある。

私たちの活動が少しでも役に立つ。一步一步の歩みが、他者への役に立っている。そう実感できる。感謝!

若者の笑顔とワイズの笑顔が重なって、YMCAが、地域が元気になる。確実に前へ進んでいきたい。



2020年9月

様

公益財団法人神戸YMCA
総理事 井上 真二
神戸YMCA学院専門学校
神戸YMCA高等学院
校長 松田 道子

学生生活支援募金 報告書の送付について

主の御名を賛美いたします。

平素は、神戸YMCA諸活動へのさまざまなご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染の拡大を受けて、神戸YMCA学院専門学校、神戸YMCA高等学院は6月1日より、学生生活が困難となっている学生・生徒支援のため、「ポジティブネット学生生活支援募金」を開始いたしました。この学生生活支援募金に対しご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

多くの個人、団体の皆様からのご支援により、2,663,000円(2020年7月29日現在)もの募金を開りました。誠にありがとうございます。これを原資として、6月16日より学生・生徒延べ206名に対して、オンライン授業受講環境整備支援金給付、また家計急変等支援金給付を順次行うことができました。下記のとおり、各支援金給付額と人数をご報告させていただきます。また学生の声を含めた報告書を作成いたしましたので、ご高覧いただければ幸いです。

神戸YMCAでは、新型コロナウイルスにより、感染予防しながらも、私だけでは、いま困っている誰かのために「神戸YMCAポジティブネット募金」を別紙のとおり行っており、学生への生活支援募金を引き続き募集しております。「誰もが、公平に夢をかなえるチャンスのある地域社会の創造を」特に、未来をつくることもユースのために、皆様とともに努めてまいります。

このたび、ご支援いただきました皆様に重ねて御礼申し上げますとともに、引き続きご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

在止

<学生生活支援募金給付金額と人数>

オンライン授業受講環境整備支援金	ホテル学科 43名 日本語学科 86名 高等学院 34名	計 163名
家計急変等支援金	ホテル学科 9名 日本語学科 28名 高等学院 6名	計 43名
給付総額: 延べ 206名	4,449,000円	

神戸YMCA年間聖句の泉はあなたにあり あなたの光に、わたしたちは光を見る。
(詩編36編10節)